

発行日：平成28年3月23日

あさかの里だより77号

発行：社会福祉法人郡山社会事業協会あさかの里

〒963-8862 福島県郡山市菜根3丁目15番3号

TEL 024-939-3401 FAX 024-939-3491

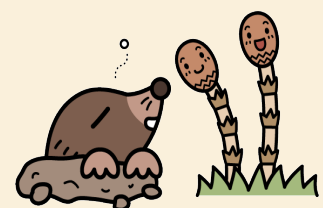
E-mail asakanosato@ac.auone-net.jp



H28,2/28 水戸借楽園にて 撮影 T. S

CONTENTS

- 2 p. あれから5年 ～震災5年後の今～
- 3 p. クリスマス&忘年会
- 4 p. もちつき大会／キャンパス弁当
- 5 p. 救急法講習会／月例ミーティング紹介
- 6 p. コラム／寄付・協賛のお礼／編集後記



あれから5年 ～震災5年後の今～



平成23年3月11日の東日本大震災から5年後の春を迎えようとしています。この震災による避難をされている方は、東北三県（岩手・宮城・福島）でいまだ13万3千人に上ります。福島県では、5万4千人の方が避難生活をされており、うち4万3千人の方は県外に避難されています。ほとんどが原発事故により避難をされている方と思われます。3年前の平成25年3月では、福島県の避難者は15万人ほどということでしたので、かなり減少したことになりますが、県外への避難者は3年前に6万人でしたから、全体の減少に比較して、県外に避難されている方の減少割合は少ないといえます。当然県外への避難

者の多くは、原発周辺の帰還困難区域空の避難とすることになるのですが、乱暴な言い方をすれば、「原発事故の影響で放射線の不安の残る福島県へ戻ることは、まだできない」ということなのではないでしょうか。

震災からのこの5年間を俯瞰してみます。郡山市内では、建物の倒壊や破損により、取り壊されて更地になったり、補修改築された建物などがいくつか見られます。日常的な光景として、常にどこに行っても除染作業が行われています。公園、学校、公共施設等から始まり、一般家庭、最近では道路の除染作業が行われています。あさかの里でも平成25年9月に法人事務所の敷地内駐車場の除染が行われました。暁紫舎でも今年年明けに駐車場の除染作業が行われました。除染作業で出た放射線濃度の高い汚染土と呼ばれるものが、敷地内に一時的に埋められるか、埋めることができない場合は、コンクリートで覆われて密閉された容器の中で保管するため、敷地内の隅に置かれています。一般家庭でもコンクリートの塊が置かれている家庭があちらこちらにあります。

震災後あさかの里は将来の永続的な活動と制度改革により、法人拠点施設の建築と社会福祉法人化へと舵を切りました。震災当時の支援状況を振り返り、防災用品の整備や災害時の緊急用の飲食料品の備蓄を行うこととし、昨年、各事業所、グループホームに配置しました。毎年9月1日の防災の日を、それら備品や備蓄品の点検、見直し、補充を行う日と決めました。大きな災害時の対応方法も見直しました。



しかしながら、震災当時、電話が通じず、利用者との連絡、安否の確認、職員間の連絡手段がない状況で、情報収集や情報交換の困難な状況であったことを思い起こすと、同様の事態になった時、つまりお互いの連絡が困難な状況になった時に、具体的で有効な対策が見いだせていないのもまた事実です。それぞれが被災しているかもしれない状況で、事前に取り決めたマニュアル通りの活動や、緊急連絡体制が機能するのか、ということにぶつかります。職員各々が、また利用者ひとりひとりが、冷静に判断して、でき得限りの最善の方法で安全に、命を守る行動をとるということのお願いをしなければなりません。情報や連絡の手段が途切れても人を想い、つながりは切れていないことを基にした、お互いの行動につなげていきましょう。

原発事故により生まれ育った故郷を離れ、避難生活を余儀なくされている方が、5年たった今でもまだ数多くいるという現実。原発事故による原子炉の廃炉の作業は今後数十年かかると言われています。いまだに内部がどのようなになっているか、誰も知りえていません。故郷での暮らしの営みを突然失ってしまった方々のこと、その後の“今”を思うと、何を語るのか、まとまりがつかいません。昨日までの日常が途切れてしまったということ、地域とのつながり、人とのつながりが切れてしまったということが、震災による原発事故のもたらした災禍と言えます。せめて人とのつながりを新たににつなげていくこと、糸を紡いでいくように少しずつ少しずつ、できることを進めていきたいと思えます。

(朝生)



~クリスマス&忘年会開催☆~



平成 27 年 12 月 11 日 (金) に障がい者福祉センターをお借りして行いました。

総勢 69 名が参加し、おおいに盛り上がりました！楽しかったですね♡

参加して下さった皆さんありがとうございました(^_^)/

皆さんひとりひとりにプレゼントをもらったり、クイズを楽しんだり、出し物は

今回 4 名の方が歌を披露したり、ギターを弾いたりと

皆さん大変素晴らしかったです！！

プレゼントは喜んで
くれたかな？



毎年恒例のジャンケン大会では、その年の有名人が登場します。

皆さん楽しみにしていて、今年は誰だろうと予想しているようでした☆



美味しいよ~♡

五郎丸…？



出し物
緊張したなあ…

~ 参加した皆さんから様々な感想が挙がりました ~

- ・料理がおいしかった。(来年はデザートがあるといいなあ…)(^_^)
- ・出し物が良かった。!(^^)! ・クイズがちょっと難しかった(+_+)
- ・景品を沢山貰えて嬉しかった。(*^_^*)
- ・暖房がきいていなかったのか、窓際がすごく寒かった。(._.)
- ・外が雨で残念だった(:_;)
- ・Aさんのパフォーマンスはいつもながら大爆笑でした(*^^)v
- ・席の割りふりが職員とメンバーで偏りがあったので均等になるようにしてほしい(^_^)/
- ・最後に皆でクリスマスソングを歌いたかった(^o^)

新春もちつき大会



去る1月5日あさかの里新春餅つき大会を開催しました。晴天にも恵まれ多くの方々に参加いただき、とても賑やかなものとなりました。餅が柔らかく美味しかった。あんこが程良い甘さだった。雑煮の味付けが美味しかった。来年は納豆餅が食べたい。などの感想が寄せられました。(=^・^=)



掛け声あげながら!!
ヨイシヨ;
ヨイシヨ;



キャンバス弁当紹介コーナー (イベント用)



「いつも有難うございます。キャンバスです」と元気にならない笑顔と一緒に弁当を届けてくれます。

うちの作業所では、唐揚げを注文しない日はないくらい人気です。あとハンバーグ弁当も大好きです。♡

日々、あの手この手と試行錯誤しながら時間との勝負も大変だろうと思います。美味しいお弁当いつも有難うございます。 by 暁紫舎



おせち料理

消費税アップのため値上げを余儀なくされましたが、変わらぬご注文いただき有難うございました。



この様に大量の注文が入るので、12月30日に配達出来るよう時間との戦いでもあります。



グループホームの忘年会や誕生会などで注文が入るとこの様なオードブルも作ってまーす。美味しそうでしょ♪

救急法講習会



2月19日（金）にあさかの里職員を対象とした「**救急法講習会**」が行われました。今回は日本赤十字社福島県支部の指導員の方にお越しいただき■心肺蘇生の手技■AEDの使い方■三角巾を使った包帯法などを教えていただきました。



🌱🐦❤️🌸🌱🐦❤️🌸月例ミーティング紹介🌱🐦❤️🌸🌱🐦❤️🌸

これまでの月例ミーティングは月に一度集まり、あらかじめ決められたテーマについて自由にみんな談笑するといったものでした。それを今年度は内容を一新し、数ヶ月に一度レクリエーションを企画するといったものになりました。

8月は「カラオケ大会」11月には「温泉へ行こう!!」といったものが開催されました。そしてこちらの写真は2月に行われた「たこ焼きパーティー」の時のものです。



コラム

ルールで思うこと

毎日交通規則を守り歩道を歩いています。自転車は私では重量オーバーです。そんなことを、10数年続けています。守っていれば

のんびり屋さん

地震だ、テーブルの下にはいって。しばらく揺れていた、震度4、やっとおさまった。大丈夫ですか、「どうしよう」。恐怖のあまり、おどろくのが少し遅かった。

バザー・寄付・協賛のお礼

大河原範子 鈴木 洋子 本間 真 長尾 多恵
 クラリオン マニュファクチャリング アンド サービス 株式会社
 コカ・コーライーストジャパン株式会社
 コマツ醤油株式会社
 マルイチグループ 根本石油株式会社
 マルハン 郡山店
 プロレス観戦招待 プロレスリング・ノア
 福島ファイヤーボンズ bjリーグ試合観戦招待～(株)ニラク
 順不同、敬称を略させていただきます。



田畑ない 物流だけが たよりかな
 世の中が どんなものか ちらみする
 あそびすぎ 冬になって キリギリス
 買ひ物は かんただけど お金少
 良い天気 散歩日より 冬の中
 帰ろかな クレーンゲームが 離さない
 ゲーセンで 100円もどらず 大さわぎ

川柳

T・M

お知らせ

年に3回発行しております「あさかの里だより」の掲載記事を募集しております。文章、詩、俳句、川柳、絵画、写真、イベントの感想等の投稿をお願い申し上げます。尚、発行は7月、11月、3月の末日頃で締切は一月前くらいです。 連絡先：お近くのスタッフ

ご結婚おめでとうございます。

暁紫舎スタッフの服部さんが
國分さんになりました。



編集後記 (平成27年度広報委員)

- ・ 行事、出来事を通し1年間はあるという間だと感じました。ありがとうございました。 高野詩子
- ・ 楽しく読んでいただけましたか、御協力ありがとうございました。 佐藤てるみ
- ・ あっという間の1年であり大変でしたが達成感がありました。 萱森泰子
- ・ 今年一年無事に発行することができました。これで安心して広報委員を卒業できます。 山内誠也
- ・ あさかの里だよりをやればやるほど色々なことがわかります。会社のこと自分のこと… 本田三男